

始動開始！ベスト8（姫路招待）

全国で新型コロナウイルス感染者が増え、感染の第4波到来か！と叫ばれつつあるなか、2021年4月18日（男前コーチの誕生日ですよお～）に広畑・網干の姫路市テニスコートで第49回姫路招待ジュニアソフトテニス大会が開催されました。

この大会は8月に愛知県（今年は事情で千葉県の子子町に急遽変更されました）で開催予定の全国小学生ソフトテニス選手権大会に出場を決めた選手や、出場を目指している選手達が近畿圏内はもちろんですが、愛知県などの東海地区、中国地区、四国地区からも参加し、男女の区別なく競技するレベルの高い大会です。龍野ジュニアソフトテニスクラブからは近畿大会、全国大会出場を目指す他クラブとのペアを含め4ペアが参加しました。

今回は大会直前にコロナ感染者が急増した影響を受け、エントリーしていた選手のうち約20ペアが棄権！主催している姫路ジュニアの責任者もドローを何度も組みなおすなどの対応を強いられたそうです。結局、各リーグ6ペアの予選8リーグ、決勝トーナメント方式に変更して実施されました。

当日は天候は良いものの、少し風が吹く中での大会でした。龍野ジュニアから参加した長谷川翔太・高橋湊ペアが予選リーグ1位で通過しベスト8に食い込みました。栗岡・久保田ペア、保田・豆崎（赤穂J）ペアは予選リーグ2位。岡本・細見ペアは予選リーグ6位という結果になりました。

強豪ペアのリーグに入った岡本・細見ペアは随所に良いプレーは見られるものの、、、やはり強豪ペア！そう簡単に何点も、ゲームも取らせてくれませんでした。打っても！打っても返球されるボールについて「リキミ」「焦り」がミスにつながってしまいました。栗岡・久保田ペアは鳥谷・岡部ペア（姫路）のアンダーカットサービス、ショートボールに「ほんろう」され負けてしまいました。保田・豆崎（赤穂J）ペアはほとんどの対戦をファイナルゲームで勝つなど粘り強いテニスができましたが前原・清家ペア（明石）に惜敗してしまいました。



セカンドサービスを打つ
長谷川翔太選手



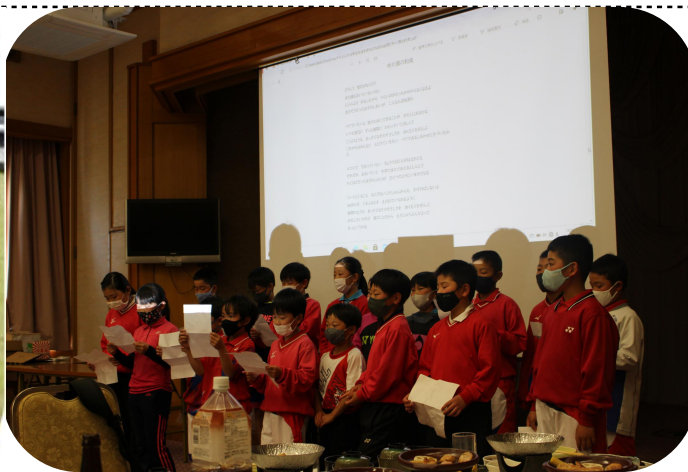
気合いっぱいの
長谷川・高橋ペア



レシーブエースをねらう
高橋湊選手



めざせ！日本一！



龍野ジュニアを巣立つ選手へのはなむけのうた

新舞子ガーデンホテルで2020年度6年生を送る会が開催されました。

新型コロナウイルスの影響で全員マスク着用（写真撮影のときと食事以外は）、消毒、ソーシャルディスタンスなどの対策をしての開催となりました。有馬コーチの記念DVDは今年も進化をとげ、プロが作成したプロモーションビデオのようなででした。

男前コーチより「心をこめて」「君たちの夢を信じて」一言メッセージシリーズ

⑩「もうだめだ！」と思った時のひと踏ん張りが勝負を決する。